様式第６号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和７年３月２１日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市大字本郷南方４０６１番地
名　　称　本郷まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名　会長　小倉　俊二
電　話　番　号　０９８５－６９－８３０９

令和６年１０月２８日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第１８条第１項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

① 事業実施報告・収支決算（見込）書

② 事業別収支計算書

③ 積立金管理状況報告書

④ 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

⑤ 本郷まちづくり推進委員会備品管理台帳

⑥ 地域協議会の意見書

（様式第６号）

令和７年３月２１日現在

令和６年度　事業実施報告・収支決算(見込)書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

１　総括

本会は、本郷だから出来る事、本郷だからやるべき事を楽しく実施することを目標に活動しています。

２　収支決算

（１）収入の部　　（単位：円）

項　　目	予　算	決　算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	4,359,000	4,359,000	0	
特例交付金	500,000	500,000	0	
繰越金	1,292,615	1,292,615	0	
負担金	160,000	215,000	55,000	
協賛金	490,000	464,580	▲25,420	
利息	0	1,512	1,512	
合　　計	6,801,615	6,832,707	31,092	

（２）支出の部

分野	事　業　名	実施年数	予　算	決　算	差	備考
防	青パト活動支援事業	10 年目	169,000	101,450	▲67,550	
防	本郷地区防災事業	10 年目	461,000	454,146	▲6,854	
福	子育て支援事業	6 年目	100,000	99,881	▲119	
福	本郷地区生活支援体制づくり事業	2 年目	162,000	75,000	▲87,000	
福	本郷こどもまつり事業	1 年目	450,000	243,865	▲206,135	
福	看護大生と取り組む地域交流事業	1 年目	12,000	11,780	▲220	
環	山崎川にホタルを飛ばそう事業	10 年目	10,000	1,440	▲8,560	
環	緑のカーテン事業	10 年目	15,000	9,824	▲5,176	
環	本郷花いっぱい事業	8 年目	180,000	159,143	▲20,857	
再	まつり本郷の交流事業	9 年目	950,000	950,000	0	
健	本郷健幸ウォーキング事業	1 年目	20,000	16,052	▲3,948	
文	本郷ふるさと再発見事業	10 年目	133,000	26,526	▲106,474	
文	親子手作り凧揚げ大会事業	2 年目	39,000	11,890	▲27,110	
教	熱気球体験学習事業	2 年目	130,000	119,370	▲10,630	
教	ふれあい夢広場事業	9 年目	200,000	191,072	▲8,928	
他	広報誌の発行事業	10 年目	1,166,000	1,185,238	19,238	
他	OA 機器等購入費等積立事業	5 年目	100,000	100,000	0	
他	本郷まち推 10 周年記念講演会事業	1 年目	353,000	382,119	29,119	
他	本郷まち歩きﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ事業	1 年目	300,000	99,000	▲201,000	
他	「本郷地区挨拶の日」支援事業	1 年目	500,000	514,580	14,580	
他	まちづくり活動支援事業	10 年目	1,351,615	1,215,593	▲136,022	
繰　越　金				864,738	864,738	
合　　計			6,801,615	6,832,707	31,092	

［第１号議案］

３　実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>青パト活動支援事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：安心して暮らせる本郷</u>
◎地域の安全は地域で守りましょう
　登下校時間や夜間パトロールを行い地域の安全を守ります。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域安全確保のための青パト隊を支援し、隊員の募集と活動を支援する。
(本郷地区安全パトロール隊の協働事業)</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">現在活動中の青色パトロール隊（１６名）の支援活動を推進した。
＜ほんごうハロウィン＞
　日　付：令和６年１０月２７日（日）
　場　所：JA 宮崎中央駐車場
　協　賛：JA 宮崎中央

１．本郷地区安全パトロール隊の活動向上のため、木花青パト隊と情報交換会の意見交換会を行った。（木花青パト隊４名、本郷青パト隊５名参加）
２．歩こう会の支援時に「歩行者優先です」等の幟旗を掲げ安全啓発及び安全誘導を行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１０１，４５０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>１３３人</td><td>２５人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>３２７人</td><td>４１５人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>４６０人</td><td>４４０人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">巡回時に子ども達が手を振って挨拶をしてくれたり、地域の方から「いつもごくろうさま」、「青パトが地域を回っていると安心します」との声や、「横断歩道は歩行者優先」の旗を掲げていると挨拶をしてくれる方が多いことは、励みになります。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各学校や自治会、住民からの直接的な要望を毎月の青パト会議で把握する。
	②住民の参加	B	B	本郷地区青少年育成協議会の指導部会との巡回を行っている。また、今もコロナ感染症のニュースを見て、影響を受けてる人もいて参加者が少なかった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の安心安全のため、青パト隊の活動を支援し、推進する。
	④各種団体との連携	A	A	通年、学校や地域の行事に青パト隊が見守りや、巡回協力を行えた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	車載スピーカーを利用し防犯呼びかけを行う。 信号機のない横断歩道での幟旗を使った安全啓発活動を行う。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	多くの子ども達が青パトを見ると、手を振って挨拶をするなど認知度も上がっている。
	⑦住民の満足度	A	A	本郷地区の防犯意識の向上、各種犯罪及び青少年の非行等の抑止力になっている。
事業継続の必要性				㊀・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ハロウィンでの青パト啓発活動では多くの子どもと保護者が来られ、交流を行いながら青パト隊を更に認識していただけました。 歩こう会の安全誘導支援時に「横断歩道では歩行者優先です」等の幟旗を掲げ安全啓発を行うと、意識される運転手が多く、安全啓発に寄与出来ていると思い喜んでいます。 また、公園等への徒歩巡回も継続して行っていますが、犯罪抑止や子供たちと直接話せる機会にもなっています。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『㊀』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『㊂』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷地区防災事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：災害に強い安心の本郷</u>
◎防災訓練・防災学習に参加しましょう
　地域住民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちをつくります</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域住民の防災意識の向上、自治会・自主防災隊のスキルアップ、消防団等関連団体の連携強化</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜防災倉庫資機材の点検＞
　令和６年６月２０日（木）本郷中学校
　令和６年７月０３日（水）本郷小学校
　令和６年７月０５日（土）国富小学校
＜かまどベンチ点検＞
　令和６年６月２３日（日）国富が丘児童遊園・希望ケ丘街区公園
　令和６年６月２６日（水）平田街区公園
　令和６年７月０２日（火）本郷北方街区公園
＜かまどベンチ修繕＞
　令和６年１０月１９日（土）本郷中学校
＜防災講座＞～より多くの人を助け、その命を守るための提言～
　令和６年８月１８日（日）宮崎県立看護大学　高木講堂
＜本郷地区防災訓練＞
　令和６年１２月０１日（日）
　　本郷中学校・国富ヶ丘児童遊園・まなび野中央公園・本郷北方街区公園・郡司分公園</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">４５４，１４６円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3">
<table>
<tr><td>年度</td><td colspan="2">令和６年度</td><td colspan="2">令和５年度</td></tr>
<tr><td>事業</td><td>資機材点検
かまどベンチ修繕
防災講座</td><td>防災訓練</td><td>資器材点検
かまどベンチ修繕
防災講座</td><td>防災訓練</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>４３人</td><td>５６１人</td><td>８１人</td><td>２７６人</td></tr>
<tr><td>消防団</td><td>０人</td><td>２８人</td><td>０人</td><td>２７人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>４１人</td><td>５３人</td><td>３２人</td><td>４１人</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>８４人</td><td>６４２人</td><td>１１３人</td><td>３４４人</td></tr>
</table>
※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">（防災講座）
・天災より人災。いかに正しい理解と事前準備が必要か！非常に勉強になりました。
・まず自分の命を守る行動を行う。垂直避難に心がける。
（防災訓練）
・防災訓練の大切さを皆さんが自覚してほしいと思います。
・かまどベンチの使用方法がわかりよかった。
・歩きの避難は時間がかかる。（比江地区）</td></tr>
</table>

評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）＜本郷地区防災事業＞

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	自然災害への関心は高まっており、アンケート等でニーズを把握するように努めた。
	② 住民の参加	A	A	自治会の参加率は、70％近くに登っている。参加者は少ないのでもう少し増やす必要がある。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷地区自治会連合会や中学校と連携により「コミュニティスクール・地域学校協同活動」の取り組みは継続されている。
	③ 各種団体との連携	A	A	本郷地区自治会連合会 赤江消防団分団 本郷中学校 宮崎市本郷地域事務所 宮崎市絆プロジェクト 宮崎県立看護大学

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	① 事業の周知	B	A	防災講座は、自治会に班回覧、本郷地区社会福祉協議会にチラシ配布。 防災訓練は、チラシを本郷中学校、自治会班回覧する。
事業の効果	② 問題解決への作用	A	A	防災訓練は「ほんごう防災備えの巻」を利用して、説明する。地域住民に防災意識向上を図ることが出来る。
	⑦住民の満足度	A	A	アンケートの結果、反省点もあるが、住民の満足度は高い。
事業継続の必要性				㊒・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・総合学習（SDGs から学ぶ防災）本郷中学校の１年生と本郷地区自治会が連携し、防災訓練を実施している。また、各公園のかまどベンチを利用して炊き出しを行う。昨年より参加者が多かった。 ・防災講座は、災害派遣に参加し指揮をとられた講師に実体験の講話をいただくことで、より多くの事を学ぶことができた。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『�未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『㊖』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子育て支援事業</td><td>実施年数</td><td>６年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成３１年度（再開）</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷</u>
◎気楽に集まれる場を作りましょう。
　地域で子育てしやすい環境づくりを推進します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">本郷児童館と共催。未就学児の親子、小学生を対象に本郷児童館で年数回実施。
　令和６年　５月１８日（土）：こどもまつり
　令和６年　６月　５日（水）：子育て講演会（まち推主催）
　令和６年　７月１３日（土）：なつまつり
　令和６年１０月１６日（水）：ほほえみ運動会
　令和６年１１月　３日（日）：ふれあい文化祭
　令和６年１１月２６日（火）：子育て講演会（まち推主催）
　令和６年１２月１８日（水）：クリスマス会
　令和７年　１月１５日（水）：親子で音遊び（まち推主催）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">９９，８８１円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>２６３人</td><td>２１３人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>２９人</td><td>３７人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>２９２人</td><td>２５０人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">［子育て講演会より］
・言葉の力は大きいので、何気ない一言も気を付けていきたいです。理想のママになれるように自分も成長しながら子育てしていきたいです。
・改めて言葉って大事だなと思いました。これからは、子どもだけでなく、夫に対しても気を付けながら言葉を発したいと思いました。
・現在妊娠中で、子育てについて全くイメージ、未知の世界ですが、子育ての前に人として大事なことを沢山学ばせていただきました。
・子どものお手本になるよう、自分の言動行動を改めようと思いました。
［親子で音遊びより］
・初めて見たり、触ったりする楽器もあって、とても楽しかったです。体を動かしたり、目できれいな物を見たり、とても良い刺激になりました。
・沢山の音と触れ合うことができて、子どもにとても良い経験でした。
・普段触れることのない楽しい楽器が出てきて、とても楽しかったです。体を動かしながら音楽で遊んで子ども達も嬉しそうでした。
・小さな子ども達が１時間飽きずに楽しそうにしていて感動しました。
・また企画して欲しい。（複数あり）</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	児童館及び地域児童とその保護者のニーズに応えている。
	②住民の参加	A	A	児童館に通う未就学児及び小学生。 地域住民・中学生ボランティア。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	子育て支援はもちろんのこと、今後の地域活動参加の担い手となる子育て世代への地域活動への参加促進のためにも必要である。
	④各種団体との連携	A	A	本郷児童館

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	児童館便り まち推広報誌 自治会班回覧にて活動報告
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	子育て支援は、地域にとって必要な事業の一つである。子どもの健全な成長を支えるため遊びやふれあい等、交流の場は、必要である。
	⑦住民の満足度	A	A	子どもも保護者も満足されている。学生もボランティア体験を通じて豊かな人間性を育む機会となり、喜ばれている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 子育てに悩む保護者を対象に子育て講演会を実施している。今回も参加者に大変好評であり、今後も実施して欲しいとの声が多かったため、年１回開催予定であったが、急きょ２回開催した。その他、子どもの心身の発達を促す音楽教育リトミックも大変好評であり継続して欲しいとの声が多い。次年度も継続していきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷地区生活支援体制づくり事業</td><td>実施年数</td><td>２年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和５年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：安心して暮らせる本郷</u>
◎住民相互のサポートのしくみづくり
　本郷お助け隊設立</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">生活支援体制を作り、日々の困りごとをボランティアで支えることによって事業が継続され、住民同士の絆づくりに寄与することが期待される。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜チラシ・ポスター作成＞
　期　日：令和７年１月１６日（木）
　作成者：宮崎大学学生

＜意見交換会参加＞
　期　日：令和７年２月４日（火）
　主　催：社会福祉協議会

１．本郷地区社会福祉協議会、本郷地区自治会連合会の事業とする。
２．ボランティアセンターで困りごとなどを一括受けて、登録ボランティアで対応する。
３．ボランティアは定期的に研修会を実施して、スキルアップを図る。
４．昨年実施したアンケートを参考に、支援内容、運営方法を検討する。
５．先進的に取り組んでいる地域の情報を得る。
６．今後の準備のために地域住民へのお知らせチラシを作成し周知を図る。
　（チラシデザインは、宮崎大学地域資源創成学部学生に依頼）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">７５，０００円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民（民生委員、福祉協力員、自治会長）</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>１人</td><td>４２人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>５人</td><td>１４人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>６人</td><td>５６人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・一昨年のアンケートから生活支援の要望は多い。
・実際運用している他地域の支援センターの活動からも活動の二次的な効果が得られているとのことである。（見守り活動に繋がる）</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	A	他地域のセンターとの意見交換で把握に努めた。
	②住民の参加	B	B	ボランティア等の参加がない（募集は今後行っていく予定）
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷地域全体の組織とするためには、予算が必要であり妥当である。
	④各種団体との連携	A	A	地区社協、自治会連合会、民児協との連携が不可欠。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	B	B	各団体の役員会では周知しているが、今後事業を地域住民の理解を得ていく必要がある。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	多くの参加者から意見も多く出され、課題解決の一助となった。
	⑦住民の満足度	B	B	今回は地域住民の満足度は確認できていない。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 地域住民へ周知を図るためにチラシの作成を行った。 宮大の学生に依頼し、今後広報活動に活用する。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷こどもまつり事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和６年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：子育てしやすい本郷</u>
◎明るく楽しいまちにしましょう
◎親子で地域の行事に参加しましょう</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">未就学児から高校生まで参加するイベントにすることで、新しい視点での企画が期待され、更に地域全体の賑わいが生まれることを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜こどもまつり＞
日時：令和６年１１月１７日（日）１３：００～１６：００
場所：まなび野中央公園

１．本郷地区社会福祉協議会との共催。
２．民生委員、社協ボランティア、まなび野おひさまきっちん（地域食堂）国富小 PTA（くんぱち部）本郷小育成会等、多くの団体の協力を得た。
３．本郷中（８名）看護大（３名）宮大（７名）の学生がボランティアとして参加してくれた。
４．中学生、看護大生は、事前の打ち合わせ会議より参加して役割分担をした。
５．宮大生は、おひさまきっちん（地域食堂）として参加した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">２４３，８６５円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>３００人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>６３人</td><td>人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>３６３人</td><td>人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・ステージ、野外ゲーム、出店等タイムスケジュールを組んで実施した。
・ステージは、幼稚園児の歌や小学生のダンス、本郷山華会の巫女舞や獅子舞、放課後デイサービス「モモ」の皿回し等、保護者や来場者が見守る中で盛り上がりをみせた。
・野外ゲームは、段ボール迷路や宝探し、下駄飛ばし、ティラノサウルス競争等、芝生広場いっぱいに子ども達の歓声が上がった。
・子ども縁日は、焼き芋・ポップコーン・ジュース販売、くじ引き、魚釣り、ゲーム等行い、参加者は最後まで楽しめたと思う。
・子ども達からは「もっと時間が欲しかった」「とても楽しかった」との声が寄せられた。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		本郷地区には、児童館が一つしかなく、まち推、社協も児童館との連携事業が多く、その中で地域全体で子ども達が参加できる行事となった。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A		子どもに係る多くの団体に学生ボランティアを含め参加協力していただいた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		社協との共催であるが、若い人達が参加する仕組みであり、妥当と考える。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A		社会福祉協議会 PTA 小学校育成会 看護大学生 宮大学生 中学生 子ども食堂 （地域食堂）
広報	⑤事業の周知	B		自治会班回覧 小学校のチラシＰ戸配布 幼稚園、保育園チラシ配布 （タイムスケジュールを含めるともっと良かった）
事業の効果	⑥課題解決への作用	A		子ども達に外で自由に体を動かして遊んでもらうことを目指し、同時に若い世代の企画運営参加を求めていたので、今後の参考になるのではと思われる。
事業の効果	⑦住民の満足度	A		アンケートは取っていないが、子ども達の満足度は高い。新しいゲーム等を取り入れた。 （全国の情報より）
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 企画段階から、学生ボランティアに参加してもらって、ある程度希望を聞きながら役割分担した。当日は運営もスムーズで、皆が積極的に行動し、大変良かった。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月　日）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>看護大生と取り組む地域交流事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和６年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：子育てしやすい本郷、高齢者にやさしい本郷</u>
◎県立看護大との連携、若者のアイデア導入</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">看護大生のアイデアで子どもや高齢者の参加する仕組みをつくり、きっかけとして地域住民の交流を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜昔遊びコーナー担当（看護大公孫樹祭）＞
期日：令和６年５月１８日（土）１９日（日）
場所：宮崎県立看護大学
１．看護大学園祭「公孫樹祭」で昔遊びコーナーをつくった。看護大担当学生達とライングループを作り、情報共有をして準備を進めた。
２．地域ボランティアを募集し、凧や紙飛行機などを子ども達と作ったり、コマ回しやけん玉などで遊んだ。
３．地区社協・自治会連合会・民生児童委員よりボランティアを募集し、５月１８日（１４名）１９日（１０名）延べ２４名の協力を得た。
◇作成コーナー：凧作り・紙飛行機作り
◇遊びコーナー：こま回し・けん玉・だるま落とし・お手玉・福笑い・あやとり・紙相撲・おはじき</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１１，７８０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>３００人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>３７人</td><td>人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>３３７人</td><td>人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">看護大実行委員学生から色々と問い合わせ、提案があり、アドバイスしながら計画した。各コーナーには、学生と地域ボランティアを配置して、協力をしながら対応した。子ども達も多く来場して、昔遊びを楽しんだ。学園祭さながらの来場者（東南アジアの留学生）もあり、日本の遊びが珍しいようであった。

参加者からは、楽しかったと言う声が多い中、とても難しかった、おじちゃんおばちゃんはとても上手！凄いですね！等の声も多く聞かれた。
子どもから高齢者まで、皆が輝いた一日となった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		公孫樹祭に初めて参加した。地域に開かれた大学を目指していると聞いており、直接学園祭に参加できたことは良かった。
	②住民の参加	A		地域団体へボランティアを呼びかけ、来場者とも交流できた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		今後、地域にある大学との連携は、あらゆる面で重要である。一つのきっかけでもあり妥当である。
	④各種団体との連携	A		社会福祉協議会 自治会連合会 民生児童委員

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A		公孫樹祭のパンフレットに昔遊びコーナーが記載され、また、まち推名も記載していただいたことから、ある程度周知されたと思う。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A		看護大生を介して、高齢者、子ども達の交流ができて、一定の効果があった。
	⑦住民の満足度	B		公孫樹祭の一コーナーであり、満足度の評価は難しい。(コーナーの来場者は、非常に楽しんでいた)
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 今回の事業のほか、社協の映写会や子どもまつり、安心安全部会の防災講座、学生の家庭訪問活動（民児協）等連携も深まっており、継続していければ良いと思う。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月　日）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［３］環境に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>山崎川にホタルを飛ばそう事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：令和６年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本計画：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷</u>
◎景観をよくしましょう。
　山崎川の環境美化等に取組み、ホタルが生息する川として地域住民に愛されるふるさとづくりを目指します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">河川の草刈り、美化活動及び水質浄化に取り組み、ホタルの飛ぶ川として地域住民に愛される本郷地区ふる里づくりを目指す。また、他団体との連携を図り会員の負担軽減に努める。
（溶存酸素が多く含まれる綺麗な川づくりと河川周辺の草刈り）
（タンパク質を多く含む栄養素、カルシウム分を多く含む水質浄化への取組み）</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜美化活動・草刈り＞
　令和６年４月１日～令和７年３月３１日（通年）
ホタルが成虫になるまでの自然環境は、木が生えていて水辺が適度に木陰になり、浅く水が流れているという条件が必要とされる。
よって、ホタルが成虫になるまでの期間の水辺の草刈りは控えた。

＜カワニナの生息環境を整える＞
　令和６年４月１日～令和７年３月３１日（通年）
・カワニナの繁殖に欠かせないカルシウム分として「蛎殻」の散布を行った。
・カワニナへ餌やりを行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１，４４０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>０人</td><td>０人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>１３人</td><td>２０人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>１３人</td><td>２０人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">＜アンケートは実施していない＞
山崎川の環境整備で汚泥や枯れ木の清掃をしていると、路行く地元の方々が、必ず声掛けをしてくれる。
・いつもきれいにしていただき、ありがとうございます。
・淀みが無くなり水がキレイになりましたね。
・水がキレイになり、小魚が増えてきましたね。
・今年も家族でホタルが飛ぶのを楽しみにしています。
・カワニナが増えてきましたね。ホタルの乱舞に期待ができそうですね。
・地元でホタルが見れるとは知りませんでした。とても嬉しいことですね。
・ゴミを捨てる人が少なくなり嬉しいですね。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	初夏の風物詩、ホタルの乱舞を豊かな自然のある山崎川の水辺で見る事ができ、地域住民に大変喜ばれている。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	C	A	現在、部会内で水質向上とホタルの餌であるカワニナの増殖に努めている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ホタルの幼虫は、餌であるカワニナを30～50個程度食して成長する。ホタルの幼虫の数倍のカワニナを必要とするためにカワニナの栄養素カルシウムを含む蛎殻を散布する。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	B	A	本郷山華会 本郷地区自治会連合会 本郷地区生涯学習推進協議会、 本郷地区青少年育成協議会

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	自治会班回覧にて飛翔報告。 地域掲示板、広報誌にて報告・掲載。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	本郷地区の「松井用水路」からの取水で、山崎川の清流となっているが、シーズンオフでも松井用水路からの清流を枯らさないように地元関係者との連携を図った。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	ホタルと餌のカワニナ、どちらもキレイな水質と自然環境が生息に欠かせないものとなっている。そのことは、山崎川の豊かな自然が継続出来ていることの証でもあり地域の満足度は非常に高い。
事業継続の必要性				有 ・ (無)

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ホタルの餌であるカワニナが山崎川で減少している。カワニナの繁殖に欠くことのできないカルシウム分の多い水質にするために「蛎殻」を散布し、同時に「蛎殻」は水質の浄化作用の効果があり、ホタルの生育と河川水質の向上が考えられる。他団体も取り組みされているため、まちづくり活動としては、今年度で終了する。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［３］環境の係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>緑のカーテン事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷</u>
◎景観をよくしましょう。
緑のカーテンを設置し環境美化に努めるとともに、次世代に担う子ども達を育成します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">環境にやさしい緑のカーテンを公共の施設に設置し、地域への浸透を図る。子ども達に植物を育てる事に関心を持ってもらい、水やりなどを通じて成長過程及び収穫の喜び、食感を学習してもらう。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜ゴーヤ苗植え付け＞
令和６年　５月１５日（水）本郷児童館

＜スナップエンドウ苗植え付け＞
令和６年１０月２３日（水）本郷児童館</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">９，８２４円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>１７人</td><td>３５人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>２人</td><td>４人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>１９人</td><td>３９人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・子ども達が興味を持ち世話している姿が良かったです。
・ゴーヤ、スナップエンドウの成長過程を観察でき良かったです。
・自分たちで育てた物を収穫し、食することができ良かったです。
・西日が遮られ良かったです。
・水やりが楽しかったです。
・苗を初めて植えて嬉しかったです。
・ゴーヤ嫌いだけど食べれて嬉しかったです。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	児童館のニーズに応えている。
	②住民の参加	A	A	児童館に通う未就学児及び小学生
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	西日を遮るものがない児童館には必要。また、子どもたちの食に関する興味や関心を育てる体験の一つとして必要である。
	④各種団体との連携	A	A	本郷児童館

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	児童館便り まち推広報誌 自治会班回覧にて活動報告
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	本郷児童館は、西日を遮るものがない為グリーンカーテン設置は大変喜ばれた。
	⑦住民の満足度	A	A	西日も遮られ、成長過程の観察や収穫の喜びを味わう事ができ、子ども達も保護者も満足している。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 日常で作物の成長過程を観察、収穫する機会の少ない子ども達にとって大変良い事業であると思う。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［３］環境に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷花いっぱい事業</td><td>実施年数</td><td>８年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２９年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">＜歴史ある本郷・歴史をつくる本郷＞
◎景観をよくしましょう。
　地域全体で花いっぱいの本郷を目指します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">花いっぱいの本郷、住民が笑顔になるまちづくりを目指す。本郷地区は、地域の高齢者と子ども達が一緒に花苗を植え、生きがいと励みになる明るいまちづくりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">美化活動　通年
＜花苗植栽　JA 宮崎中央花壇　本郷地域事務所＞
　令和６年　５月１０日（金）：耕運作業
　令和６年　５月１３日（月）：花苗植栽・下南方老人クラブ千とせ会
　　国富小栽培委員会
　令和６年１２月　１日（日）：耕運作業
　令和６年１２月　９日（月）：花苗植栽・下南方老人クラブ千とせ会
　　国富小栽培委員会
＜花苗植栽　豆田川＞
　令和６年　６月１１日（月）：耕運作業
　令和６年　６月２４日（月）：花苗植栽・下南方老人クラブ千とせ会
　令和６年１１月　５日（火）：耕運作業
　令和６年１１月１１日（月）：花苗植栽・国富小栽培委員会</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１５９，１４３円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>９４人</td><td>８０人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>３３人</td><td>３３人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>１２７人</td><td>１１３人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・毎日草取りをする姿を見かけ感心します。いつもありがとうございます。
・いつも綺麗に手入れされて、お花を見る度に幸せな気持ちになります。
・時々、花の持ち帰りをさせていただいています。とても嬉しい取り組みです。
・本郷は住みやすく、お花もキレイで良い所ですね。
・お花の写真を撮って娘に送るのが楽しみです。
等、多くの喜びの声が届けられます。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）＜花いっぱい事業＞

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	近隣住民や通行人等の声を直接聞き、ニーズの把握に努めている。
	②住民の参加	A	A	地域内の老人クラブや近隣小学校の栽培委員会と共に実施している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	美しい花に喜ばれるだけでなく、ゴミも捨てられなくなった。更に美観が保たれており、まち推の取組として妥当である。
	④各種団体との連携	A	A	老人クラブ千歳会 国富小学校栽培委員会

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ自治会班回覧 地域掲示板 広報誌にて、事業実施報告。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	花を植栽することで、ゴミ問題がなくなった。地域内が明るくなり、景観も美しく喜びの声が増えた。
	⑦住民の満足度	A	A	いつも花が美しく咲いていて癒される。散歩が楽しくなるなど、多くの喜びの声が寄せられている。地域住民の満足度は、かなり高い。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 花が終わりを迎える頃、「ご自由にお持ち帰りください！」の案内板を出しているが、地域住民にも喜ばれ、また撤去作業等の手間も省けるため今後も続けていきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載す

３　実施報告

［４］地域再生に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>まつり本郷の交流事業</td><td>実施年数</td><td>９年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：子育てしやすい本郷</u>
◎親子で地域の行事に参加しましょう。
「子は宝」をテーマに地域住民や学校、各種団体等が連携を図り地域全体で子ども達を育むまちづくりを目指します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">「まつり本郷」の中で、地域の活性化を図る。まつり本郷実行委員会と本郷自治会連合会の三者で協働することにより地域の繋がりを深め、ふるさとの祭りとして子ども達に引き継いでいく。また、まちづくり推進委員会のブースを設けてＰＲを行い実行委員の一員として関わる。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜第２回山華まつり＞
期日：令和６年９月２１日（土）
時間：１３：００～１５：００
＜第９回まつり本郷＞
期日：令和６年９月２１日（土）
時間：１５：００～２０：００
場所：JA 宮崎中央駐車場
共催：本郷地区自治会連合会・（一社）本郷山華会
協力：本郷中学校ボランティア・第一高校放送部</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">９５０，０００円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>約３，０００人</td><td>約３，０００人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>約５０人</td><td>約５０人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>約３，０５０人</td><td>約３，０５０人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・子ども達が喜ぶ姿を見て、地域の繋がりを感じた。
・まつりは、地域の住民を一つにする大切なイベントであることを再認識した。現代は、地域の関係がバラバラになり、地域性を感じることが少なくなってきたが、「まつり本郷」は、子どもから大人まで地域の絆を感じさせてくれた。
・まつり本郷楽しみにしていた、参加できてとても嬉しい。楽しい。これからも開催して欲しい、など沢山の喜びの声が届けられた。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	本郷自治会連合会、本郷山華会と連携して開催している。地域の民さんが楽しみにされている一大イベント。
	②住民の参加	A	A	約 3,000 名の地域住民の参加があった。子どもから大人まで大いに楽しんでくれた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「子は宝」をテーマに多くの地域住民の参加を受けて、地域の絆作りに大きく寄与した。
	④各種団体との連携	A	A	自治会連合会、本郷山華会、社会福祉協議会、民生員児童委員協議会、青少年育成協議会、安全パトロール隊、国富小、本郷小、本郷中

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・自治会班回覧 ・各学校 P 戸数配布 ・ポスター掲示 ・広報誌掲載 ・事業報告書での報告
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	地域との連携がとれている。次回開催時には、運営側の人手不足が解消できるよう参加団体を増やし、更に地域の連携を深めたい。
	⑦住民の満足度	A	A	子ども達の喜ぶ姿に大人も充分にまつりの良さを認識した。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 自治会連合会に会場内や周辺駐車場の警備協力を得、無事に開催することができた。来場者に当日リーフレットを配布しているが、抽選ナンバーが付いていることから、子ども達が一人で何枚もリーフレットを手にしており、クレームが出た。今後配布方法を検討したい。一番の課題は、運営側の人手不足である。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月　日）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［５］健康づくりに係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷健幸ウォーキング事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和６年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：高齢者にやさしい本郷</u>
◎明るく楽しいまちにしましょう
◎本郷フットパスの整備
◎いろいろまちあるき</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">本郷健幸ウォーキングマップの活用を図り、正しいウォーキングをして、健康維持と高齢者同士の繋がりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜ノルディックウォーキング＞
期　日：令和６年１１月２４日（日）
コース：宮崎県立看護大学～掩体壕駐車場往復
１．本郷ウォーキングマップを活用。（看護大 串間教授監修）
２．ノルディックウォーキングポールを使い、正しい歩き方、負荷のかけ方、脈の測り方等、看護大体育館で学んだ。（負荷の目安は、脈拍を測ることで確認することができる）
３．実地でウォーキングマップのルートを使い、全員で歩き、中間地点でそれぞれ自分の脈拍を確認した。
４．体育館での説明 30 分、実地ウォーキング約 1 時間（6,000 歩）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１６，０５２円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>１２人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>５人</td><td>人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>１７人</td><td>人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・参加者は、普段ウォーキングをされている方がほとんどで、串間先生の説明を理解されて、内容は非常に良かったとの感想をいただいた。
・本郷ウォーキングマップを知らない方もいて、今後活用されることを期待したい。同時にぶらり本郷探検マップの紹介と配布を行い、同じく今後活用されることを期待する。
・フレイル予防のための健幸体操教室の紹介もしたが、近くに会場がないことも課題である。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		毎日、高齢者の方は地域を気軽に散歩されているので健康意識は高い。
	②住民の参加	B		最初の申し込みは少なかったが、声掛けで参加者を増やした。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		看護大との連携事業であり、他の事業とも関連はあるので妥当と考える。
	④各種団体との連携	B		自治会連合会や社会福祉協議会との連携をもっと密にすべきであった。（健康体操教室等への呼びかけなど）
広報	⑤事業の周知	B		自治会班回覧（自治会回覧だけでは、見落としもあり周知不足であった）
事業の効果	⑥課題解決への作用	A		フレイル予防や健康寿命を伸ばす住民同士の交流を図る。そして地域を知ることなど、多くの課題を解決できるのではないかと思われる。
	⑦住民の満足度	A		少なくとも参加者は全員が満足された。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 今回は、健康ウォーキングマップの活用を図ることが目的の一つであったが、串間先生の監修であり、その内容も説明していただいたので良かったと思う。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月　日）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［６］伝統文化に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷ふるさと再発見事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">開始：平成２７年度</td><td>終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：歴史ある本郷・歴史をつくる本郷</u>
◎歴史を探し伝えましょう
　本郷地域の歴史を地域で知り、伝え、郷土愛の醸成を図ります。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">本郷地区の文化や歴史及び景観の特性を学び、考えることを通じ、ふるさとへの興味や関心を高め、知識の習得、郷土愛の醸成を図ることを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜ぶらり本郷探険まっぷ＞
　日　　付：４月２３日本郷中学校１年生を対象に配布
＜くどみ・ほんごう絵画コンクール＞
　チラシ配布：令和６年７月１８日（金）国富小学校・本郷小学校配布
　投　　票：令和６年９月６日～９月１７日(JA みやざき壁面)
　投 票 結 果：令和６年９月１９日（木）
　表　彰　式：令和６年９月２１日（土）まつり本郷ステージにて発表
＜昔なつかしい写真募集＞(ふれあい夢広場)
　展 示 準 備：令和６年１１月２日（土）
　展　　示：令和６年１１月３日（日）
　場　　所：本郷地区交流センター南事務所
＜子どもも大人も本郷かぐら体験＞（子どもまつり）
　日　　付：令和６年１１月１７日（日）
　場　　所：まなび野中央公園</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">２６，５２６円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>１８人</td><td>１９１人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>４３人</td><td>７４人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>６１人</td><td>２６５人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">（かぐら体験）
・子どもまつりの中でかぐらを披露し、かぐらブースを設けることで地域の方に詳しく説明することができた。
・いろいろな楽器や舞い方の説明を受け、かぐらについて知ることができた。

（くどみ・ほんごう絵画コンクール）
・夏休みの課題として、取り組むことで毎年募集をしてくれる子どもたちも増えてきた。
・まつり本郷のステージにて表彰をすることで、ステージに立つ子どもの姿を見て、保護者も喜ばれる様子が見られた。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）　＜本郷かぐら体験＞

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	興味はある様だが、地域伝統の継承が望まれる。
	②住民の参加	A	A	かぐら体験は、本郷地区交流センターの講座にて、かぐら体験を行った。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷かぐらをより多くの人に知ってもらうために、多団体と連携を図り、盛り上げていく。
	④各種団体との連携	A	A	国富小学校 本郷小学校 本郷山華会 本郷地区交流センター

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	本郷地区交流センターの講座にて、募集を行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	地元に根付いてる伝統かぐらを地域の方に周知することができた。これからも伝統文化を伝えていく。
	⑦住民の満足度	A	A	地域内外の方に、本郷かぐらを周知できた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・かぐら体験を子どもまつり事業の中で、ブースを設けて呼びかけたことでより多くの方に周知することができた。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）（くどみ・ほんごう絵画コンクール/本郷の昔話や写真募集）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	昔の写真は、収集が難しいため、本郷地域を詳しく知る人に写真がないか、協力のお願いをする。 絵画コンクールは、まつりにて表彰を行う事で周知が高まった。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A	B	昔の写真は、ふれあい文化祭にて展示を行い皆さまに周知できた。 絵画コンクールは、本郷地域の各小学校に夏休みの課題として、お願いした。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	妥当である。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A	A	山華会 JA 宮崎中央 国富小学校 本郷小学校

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	国富小学校・本郷小学校に P 戸配布する。 絵画を JA 宮崎中央の壁面に展示し、投票期間を設ける。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	チラシを配布することで、学校から、本郷の景観やまちづくりに興味関心を持ってもらうことができた。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	B	本郷の歴史や景観に興味を持ってもらえるように継続して取り組む。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・絵画コンクールの表彰は、まつり本郷のステージにて発表する。沢山の方に表彰を見ていただけることで、保護者の方にとても喜ばれた。 ・昔なつかし写真展は、ふれあい夢広場のバザー会場にて、展示することで幅広く地域の方に周知することができた。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［６］伝統文化に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>親子手作り凧揚げ大会事業</td><td>実施年数</td><td>２年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和５年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：歴史ある本郷・歴史をつくる本郷</u>
◎歴史を探し伝えましょう。
　本郷地域の歴史を地域で知り、伝え、郷土愛の醸成を図ります。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">子どもを対象に伝統文化にふれあう機会を設け、遊びを通して地域づくりと交流を深める。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜親子手作り凧上げ大会＞
　日　付：令和７年１月１９日（日）
　時　間：９：００～１２：００
　場　所：国富小学校体育館・運動場
　協　力：国富小学校</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１１，８９０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者、</td><td colspan="3">本郷地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>１０人</td><td>１６人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>７人</td><td>１３人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>１７人</td><td>２９人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">（子ども）
・楽しかった。
・凧を上げるのにたくさん走って楽しかったです。
・凧上げが難しかったです。
・思ったよりすぐ終わった。
（保護者）
・広々とした場所で、思いっきり走ることができて、凧もしっかり上がりとてもいい時間でした。３才の子も凧を上げることができて楽しそうでした。
・凧を作る時間に差があるので、今回のようにある程度の時間で写真を撮って解散していただくとありがたいです。
・いい機会でした。ありがとうございました。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	国富小学校 本郷小学校
	②住民の参加	A	A	本郷地域の各小学校、保護者の参加。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷地区安全パトロール隊とまち推のコミュニケーションも高まった。
	④各種団体との連携	A	A	本郷小学校 国富小学校

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	国富小学校、本郷小学校にチラシ配布する。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A	小学生の参加が少なかったので、未就学児の参加の呼びかけを検討する。
	⑦住民の満足度	A	A	親子で物作りを一緒にすることが、なかなかないのでとても楽しかった。
事業継続の必要性				㊀・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・絵を書いてもらうのに、絵画の題材を準備したり、持参いただく等、広報の際に記載する。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『㊀』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『㊁』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［７］地域教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>熱気球体験学習事業</td><td>実施年数</td><td>２年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和５年度</td><td colspan="2">終了：令和６年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：子育てしやすい本郷・歴史をつくる本郷</u>
◎明るく楽しいまちにしましょう
　感動体験を重ね、生きる力を獲得するとともに、明るく楽しいまちづくりを目指します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域住民の元気の源である学校と連携し、地域の宝、未来の担い手となる子ども達に、思い出づくりの場、感動の場を提供する。感動体験を通し、地域の魅力を発見しながら「地域愛」を深めることを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜熱気球搭乗体験＞
　期日：令和６年１１月２３日（土）
　場所：国富小学校校庭
　協力：宮崎大学気球部

当初１１月９日（土）を予定していたが、天候不順により１１月２３日に延期し、当日６：１５にパイロット、スタッフにて気象状況確認後、決行判断した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１１９，３７０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">国富小学校３年生児童対象</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>２８人</td><td>４６人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>２２人</td><td>２１人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>５０人</td><td>６７人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・学校を上から見れて嬉しかった。
・自分の家が見えたり、遠くの山まで見えて感動した。
・ちょっと怖かったけど楽しかった。
など、搭乗を終えた子たちは、目を輝かせながら喜びの感想を聞かせてくれた。
普段なかなか出来ない貴重な体験であり、保護者や先生方も大変喜ばれていた。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	熱気球はフリーフライトせずに気球をアンカー車両に係留して、浮遊感と空からの景色を楽しんだ。子どもから高齢者まで楽しむことができ、遠くの地域からも気球が見えたと喜びの声が届いた。今後も期待できる。
	②住民の参加	B	A	参加者は国富小3年生84名中28名。 子ども達は、気球が膨らんでくると目を輝かせて歓声が起き、搭乗が待ちきれない様子だった。（バケットの搭乗者は、子ども3名とパイロット1名）
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	熱気球搭乗への事業は、3年生を主体に行い、参加児童の保護者の同意を得、尚且つ機体保険の加入状況などを確認し事業実施した。
	④各種団体との連携	A	A	国富小学校 宮崎大学気球部 国富小学校区子ども会 国富が丘自治会 本郷地区生涯学習推進協議会 本郷地区自治会連合会

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	熱気球体験学習事業として、国富小学校3年生全員に参加希望を募る。 気球に空気より軽い熱した機体を風船に詰め込み空中に浮かせ、熱気球を係留して行う事業を地域、学校を含め協議した。 国富小3年生へチラシ配布。広報誌にて実施報告。
事業の効果	⑥門題解決への作用	A	A	機体と地上を結ぶアンカー車両が2台必要だが、幸いトラックとSUV車両の提供申し出があり、問題解決となった。
	⑦住民の満足度	A	A	秋の季節の早朝、空気の澄んだ風のないキレイな時間を選び、遠くの景色まで見渡せる喜びを地上20m上空で味わってもらった。下船した子ども達からは、「楽しかった」「またもう一度乗りたい」との声が聞かれた。
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 当初の計画では、小学校4年生を対象としていたが、学校側の申し出により3年生を熱気球体験への搭乗とした。地域を空から眺め、学校周辺の景観や空港施設、運動公園、山など確認し、感動を享受してもらったのは良かった。小学生の集合時間は6：40としたが、現地気象判断等あり、スタッフは5：30過ぎより待機した。予算の関係上、体験費用13万円を11万円へ引き下げしていただいた。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

※提出しない

３　実施報告

［７］教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>ふれあい夢広場事業</td><td>実施年数</td><td>９年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：子育てしやすい本郷</u>
◎親子で地域の行事に参加しましょう。
発表の場が子ども達のやる気を伸ばすとともに、地域の方々と触れ合う機会となり、地域全体で子ども達を育むまちづくりを推進します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">青少年の健全な育成を促進するため、本郷の子ども達の日頃の学生生活や活動の努力を賞賛し、地域の方々とのふれあいの場とする。また、本郷まちづくり推進委員会の周知、広報の場とする。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜ふれあい夢広場＞
日時：令和６年１１月３日（日）
場所：本郷公民館

＜標語ポスター作成＞
日時：令和６年１２月２日（月）

協力団体：本郷地区青少年育成協議会</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１９１，０７２円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>２００人</td><td>３１２人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>８人</td><td>８人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>２０８人</td><td>３２０人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・子ども達の発表が素晴らしく、大人が大いに反省し、また感動もした。
・子ども達は豊かな感性で物を見、感じ取り素直な気持ちで自分の気持ちを表現しており感銘を受けた。
・子ども達の素直な気持ちにいつも反省させられています。
・子ども達の発表に感動しました。素晴らしいですね。
・標語ポスター作成は、今後も継続してください。
等、沢山の喜びの声をいただいた。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校と青少協、公民館との連携で開催している。
	②住民の参加	A	A	例年より参加者が少なかったが、多くの地域住民の参加を得て、地域の一大イベントとして支持されている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷地区の秋を飾るイベントとして地域の人に支持されており、今後とも積極的に取り組む必要がある。
	④各種団体との連携	A	A	本郷公民館 青少年育成協議会 自治会連合会 国富小学校 本郷小学校 本郷中学校 宮崎第一中学校

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	青少協からのプリント 掲示板での告知 ポスター掲示 （各学校、公民館など） 広報誌掲載
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	各種団体や学校４校の連携がとれている。
	⑦住民の満足度	A	A	子ども達の素晴らしい発表に感動する地域住民が多い。掲示板に貼られた標語ポスターも好評である。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 地域で連携、協力して事業が実施できている。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>広報誌の発行事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：みんなでつくろう輝く本郷</u>
◎まちづくり活動を広く PR することで、地域活動への理解や参画を図ります。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・本郷まちづくり推進委員会の事業内容や活動をより多くの人に発信し周知を図るとともに、メンバー募集により活動の拡大を図る。
・地域の施設や景観等を紹介し、郷土愛を育みまちづくりの雰囲気向上を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜きらり☆本郷＞発行
令和６年９月１日：本郷中学校・本郷小学校・国富小学校・本郷自治会世帯配布
＜ほんごう＞統合版 発行
令和７年３月中旬：本郷地区自治会・社会福祉協議会・本郷地区体育会
本郷地区生涯学習推進協議会合同発行
統合版は、本郷地区全世帯、約 9,880 世帯ﾎﾟｽﾃｨﾝｸﾞする。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１，１８５，２３８円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3">
<table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>０人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>４３人</td><td>３５人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>４３人</td><td>３５人</td></tr>
</table>
※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・まつり本郷およびふれあい夢広場で「きらり☆本郷」及びまち推の活動についてアンケートを実施、合計 406 人の方より回答をいただいた。
①「きらり☆本郷」の認知度は 50.7%と思ったより低いことが分かった。（まつり本郷 180 人での認知度は 57.2%で、参加者の層で差はありそう）
②まち推の活動への興味については、まつり本郷への興味が一番高く、健康・子育て、花いっぱい、防災についてが続く。本郷の歴史については 7.5%と低い回答だった。本郷には古くからの歴史があり、興味を持ってもらうことでまちへの愛着を向上させることができるのではないかと推察する。

<table>
<tr><td colspan="5">「きらり☆本郷」を知っているか？（回答：406 人）</td></tr>
<tr><td></td><td>まつり本郷</td><td>ふれあい夢広場</td><td>合　計</td><td>%</td></tr>
<tr><td>知っている</td><td>103 人</td><td>103 人</td><td>206 人</td><td>50.7%</td></tr>
<tr><td>知らない</td><td>76 人</td><td>124 人</td><td>200 人</td><td>49.3%</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">興味がある本郷まちづくり推進委員会の活動（重複回答あり）</td></tr>
<tr><td></td><td>まつり</td><td>健康・子育て</td><td>花いっぱい</td><td>防　災</td><td>本郷の歴史</td><td>夢広場</td></tr>
<tr><td>まつり本郷</td><td>62 人</td><td>49 人</td><td>22 人</td><td>20 人</td><td>17 人</td><td>10 人</td></tr>
<tr><td>夢広場</td><td>100 人</td><td>26 人</td><td>43 人</td><td>39 人</td><td>15 人</td><td>21 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>162 人</td><td>75 人</td><td>65 人</td><td>59 人</td><td>32 人</td><td>31 人</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校・団体を考慮して写真を掲載している。 合同版を発行する事で他団体の広報誌が白黒からカラーにできた。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A	A	自治会班回覧、本郷地域の各学校に各戸配布することで、地域に周知できた。 合同版をﾎﾟｽﾃｨﾝｸﾞする事で地域住民に周知できた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの事業の中で、本郷地域住民の関わりをたくさん広報誌で掲載する事ができた。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A	A	本郷地区自治会連合会 本郷地区社会福祉協議会 本郷地区交流センター 本郷地区体育会

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	各事業の紹介をすることでまちづくりの活動を周知できた。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	広報誌に事業の案内や報告をすることでまちづくりの活動に地域の方が、興味を持ってもらえた。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	本郷地区自治会連合会、本郷地区社会福祉協議会、本郷地区交流センター、と合同版を発行することで見応えのある広報誌となった。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ まつり本郷およびふれあい夢広場で「きらり☆本郷」及びまち推の活動についてアンケートを実施、現状認識ができた。

地域協議会からの意見への対応			
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>ＯＡ機器等購入費等積立事業</td><td>実施年数</td><td>５年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和２年度</td><td colspan="2">終了：令和７年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：みんなでつくろう輝く本郷</u>
◎まちづくりの活動を支援し、まちづくりを推進します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">まちづくり事業全般のイベントやプレゼンテーション等に使用している、アンプ・マイク・プロジェクター・スクリーン・カメラ等、又データを保存するために使用している外付ハードディスク、その他本郷地区安全パトロール隊及び本郷まちづくり推進委員会の車両に搭載されている車載用ＳＤ付アンプスピーカーセット・ドライブレコーダーの故障、破損により必要となる購入費を積立てる事により、スムーズなまちづくり活動を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜積立＞
令和６年７月１日（月）：積立

現在使用中のＯＡ機器、視聴覚機器、音響機器等の故障、破損により必要となる購入費用を積み立てる。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１００，０００円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>人</td><td>人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">特になし</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特になし
	②住民の参加	A	A	特になし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	現在使用中のＯＡ機器、視聴覚機器、音響機器等の故障、破損により必要となる経費である。
	④各種団体との連携	A	A	特になし

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	事業報告書
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特になし
	⑦住民の満足度	A	A	特になし
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 特になし

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷まち推１０周年記念講演会事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和６年度</td><td colspan="2">終了：令和６年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標：安心して暮らせる本郷
元気な高齢者が高齢者を支えましょう
親子で地域の行事に参加してみましょう
明るく楽しいまちにしましょう
地域で助け合いましょう
近所付き合い顔の見える関係を築きましょう
◎今ある「当たり前」は「当たり前ではない」ことに気付き、幸せな日々を送りましょう</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域住民が幸せな日々を送るために、今の「当たり前の幸せ」に気付く感受性を磨く。各個人が内面を変化させ、感謝の心を持ち、他者も自分自身も大切にし、更なる善き人生に向かう事を目的とする。また、人は一人では生きていけないことに気付き、人と助け合う心を育む。
幅広く地域住民の参加を求め、まちづくりの PR も兼ねる。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜大野勝彦講演会（熊本県・風の丘美術館より）＞
日時：令和６年６月１６日（日）
場所：宮崎県立看護大学　高木講堂</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">３８２，１１９円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>２２４人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>２０人</td><td>人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>２４４人</td><td>人</td></tr></table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・大変感動しました。生きる力をいただきました。
・日々の暮らしに不満を持ってはいけない、失って気付かれた多くのことを教えていただき、涙が溢れる思いでした。これからは、沢山感謝しながら生きていきます。
・一日一日を大切に生きることを本当の意味で学ぶ機会になりました。
・生き方を再度考えさせられました。毎日いつも通りに生きられることに感謝しながら、これからも頑張ろうと思いました。
・つい不平不満に目を向けてしまいますが、今ある当たり前に感謝していきたいです。
・起きたことを受け入れて前向きに！本当に凄い方ですね。日頃当たり前と思っていることに感謝すべきことが多いことに気付かされる講演会でした。
・感動しました。当たり前＝有難いこと。心に刻み楽しく生きていきたいと思います。
・生きることの意味を考えさせられ、沢山の気付きをいただいた講演会でした。
・実に素晴らしい！大変感動しました。若い人達に聞いて欲しい講演でした。
・どんな人生でも感謝して生きる。日々を大切に前向きに生きたいと思いました。
・年齢を重ね、今から何をすべきかと考える時、講演を聞いて、自分の夢を叶えようと言う気持ちがあれば、それができるのだということが分かり大変有意義だった。
・このような講演会が近くで聞けてとても嬉しかったです。感動しました。
・感謝を忘れかけていました。目、耳、歯、ドンドン劣化。でも前向きに生きていきます。
・この年になっても学ぶことばかりです。今年 83 才。まだまだこれからです。
・想像していたより、ずっと身近で心に刺さるお話しでした。聞けて良かったです。
・素晴らしい講演会、今後もぜひ企画して欲しいです。（複数回答有）</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		日頃忘れがちな感謝の心や生きていくうえで大切な心のあり方など、大きな気付きを得ることができた講演会となった。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A		10代～80代まで244名の参加であった。後日、講演会が開催されたことを知った住民からは、参加出来ず残念、との声が多数寄せられた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		感謝の心は人生の基本である。地域住民が心身共に健全に過ごせるよう導くことは大切なことであり、まち推の活動として妥当である。
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A		自治会連合会
広報	⑤事業の周知	A		・自治会班回覧 ・ポスター掲示 ・広報誌掲載 ・事業報告書での報告 (自治会回覧は、見落とし等が多く、周知が難しいことが良く分かった)
事業の効果	⑥課題解決への作用	A		講演会に参加された方のほとんどが、沢山の感動を覚え、今後の人生の活力となったことは、非常に良かったと思う。
事業の効果	⑦住民の満足度	A		講演会に参加された方は、大満足であった。今後も企画して欲しいとの声も多い。
事業継続の必要性				有・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 自治会班回覧にて広報したが、大半の方が目にしていないことが分かり、様々な会議等に出向き、広報活動をさせていただいて参加者を募った。残念であったことは、マイクの入りが悪く音量が小さかったこと。看護大のシステム上、手の打ちようがなかったが、今後の事業に関しては、更に慎重に丁寧に事前チェックを行いたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月　日）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>本郷まち歩きデジタルスタンプラリー事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">開始：令和６年度</td><td>終了：令和６年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標</u>
<u>「歴史ある本郷・歴史をつくる本郷」</u>
<u>「高齢者にやさしい本郷」「子育てしやすい本郷」</u>
◎歴史を探し伝えましょう（本郷の文化や歴史を歩いて学ぶことで、本郷の魅力に興味や関心を持ってもらうことを目的とする。）</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・スタンプラリーを通じて、「South Coast 情報ひろば」の LINE 登録者を増やし、本郷及び木花と青島の地域の様々な情報を提供する。
・「ぶらり本郷探検マップ」の更なる活用で本郷地区内外に本郷の歴史と文化を知ってもらう。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜キャラクター買い取り＞
　日付：１１月２２日(金)
スタンプラリーの実施に向けて取り組んできたが、順調に進まなかったため、「ぶらり本郷探険マップ」のキャラクターを本郷まちづくり推進委員会のキャラクターとして買い取りを行った。今後は時間をかけて、じっくりと検討する必要がある。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">９９，０００円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>０人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>７人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>７人</td><td>０人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・実施出来なかったので、アンケート等の住民の意見は集約していない。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		木花まち推、青島まち推と合同で「South Coast 情報ひろば」の登録者を増やす手段として実施する。
	②住民の参加	C		開催準備がメールのやり取りのためスムーズに行えず、開催時期を逃してしまった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		「South Coast 情報ひろば」の登録者を増やす事で、各事業の広報手段として有効である。
	④各種団体との連携	A		本郷中、国冨小、本郷小、青少協、自治連、社協、生涯学習等の団体と連携して取り組んで行く。
広報	⑤事業の周知	C		事業のチラシの配布は行えなかった。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B		事業開催の準備段階でマスコットキャラクター『きらりちゃん』を買い取った。次年度以降は様々な事業に活用していきたい。
	⑦住民の満足度	C		住民の満足度は確認できないが、今回の反省点を踏まえ、スタンプラリー以外の手段も視野に含み検討していきたい。
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 「South Coast 情報ひろば」の登録者を増し、各地域の活動を広報する手段として、事業計画を行ったが、次年度以降の広報及びまち歩きに関しては、コース選定及び実施方法等を再度検討し、本郷独自の取り組みやすい方法を計画していきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>「本郷地区挨拶の日」支援事業</td><td>実施年数</td><td>１年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：令和６年度</td><td colspan="2">終了：令和６年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標</u>
<u>「子育てしやすい本郷」「高齢者にやさしい本郷」「安心して暮らせる本郷」</u>
◎取り組み項目の「地域での見守りを充実させましょう」、「普段からあいさつ」、「近所付き合い」、「顔の見える関係を築きましょう」、「みんなであいさつ」、「地域でオアシス運動の推進（「オはよう、アりがとう、シつれいします、スみません」をみんなが言える地域を作ろう）」等を目指します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域ぐるみの挨拶の気運を高めるため、毎月９日を「本郷地区挨拶の日」として定着させる。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">＜本郷地区挨拶の日＞
のぼり旗・手旗作成
日付：令和７年２月１３日（木）
１．本郷中学校、国富小学校、本郷小学校、本郷地区自治会連合会、本郷地区青少年育成協議会等と協力して、のぼり旗及び小旗等の作成を進め、あいさつ運動時に活用する。
２．事前通告としてチラシを作成し、全世帯及び事業所等にあいさつ運動の理解と協力を求めていく。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">５１４，５８０円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">本郷地域住民及び事業所</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>０人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>スタッフ（運営協議会）</td><td>２３人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>２３人</td><td>０人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・アンケート等の住民の意見は集約していない。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		今年度、学校運営協議会にて地域と連携した学校運営について話し合い、地域ぐるみの挨拶運動となった。
	②住民の参加	A		事業の広報については、学校が保護者に対して実施しているため、多くの参加者が見込まれている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		学校運営協議会からの要望を受け、のぼり旗及び小旗の作成を支援する事業である。
	④各種団体との連携	A		学校運営協議会（本郷中、国冨小、本郷小）、青少協、自治連と連携して取り組んで行く。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	B		事業チラシの配布は行っていないが、各学校が保護者に対しお知らせ文書の配布は行っている。
事業の効果	⑥課題解決への作用	C		のぼり旗等のデザイン作成に時間を要し挨拶運動中の効果が確認出来なかった。
	⑦住民の満足度	B		住民の満足度は確認できなかったが、学校運営協議会関係者に対しては好評であった。
事業継続の必要性				有 ・ (無)

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 今後は地域全体の取り組みとして、地域住民及び企業等の参加を募り、活動を支援していきたい。挨拶の日を「９日」に限定しているが、今後はのぼり旗や小旗の活用で月一ではなく挨拶の日が毎日取り組めるよう展開していきたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

３　実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>まちづくり活動支援事業</td><td>実施年数</td><td>１０年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3"><u>基本目標：みんなでつくろう輝く本郷</u>
◎まちづくり活動を支援し、まちづくりを推進します。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">まちづくり事業の中で部会だけでなく、全体的に活動をしていくための費用を負担する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">１．車両のリース費用、維持管理費
２．事務局用パソコン、複合機のリース費用及びインクなどの補充用品
３．文具等の購入
４．郵送・配送費及び切手・封筒購入費
５．活動中の保険加入代
６．各部会の活動支援</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">１，２１５，５９３円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">まちづくり事務局、部会員</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>０人</td><td>４０人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>７１人</td><td>４３人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>７１人</td><td>８３人</td></tr>
</table>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">（LINE 会議）
・木花・青島まちづくりと 3 地区合同のライン配信について、月一度の会議に参加している。
・本郷まちづくりの事業の中で、LINE 登録者数を募ることができ、広く周知できた。
・LINE 発信の内容や他地区の多団体との関わり方について参考になった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	まち推の車両をまち推の事業だけでなく、青色パトロール車両としても活用する。
	② 住民の参加	A	A	事業内容や活動をより多くの人に発信し周知をはかる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの活動に自治会や学校に協力のお願いをする。 現在、実施中の事業については全て、地域にとって必要であると判断している。
	③ 各種団体との連携	A	A	各事業ごとに各種団体と連携し事業実施している。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	自治会や学校にまちづくりの活動を広報誌にて、紹介する。 自治会に文書配布や広報活動に協力のお願いをする。SNS の発信をはじめて
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	事業の中で全体を通して支援していく。
	⑦住民の満足度	A	A	本郷地域で活動する団体に備品等の貸し出しを行い喜ばれている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・まちづくりの車両を青パトロール車両として使用。 ・全体的の活動を行うための費用負担。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

※　「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『(未)』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『(済)』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	青パト活動支援事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	91,450	
2	繰越金	0	
3	協賛金	10,000	青少協
4	負担金	0	
5	合計（A）	101,450	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	81,620	青パト巡回活動 燃料代　20,844 飲物代　5,184 SDカード　1,048 ハロウィン(啓発活動) チラシ印刷代　7,140 お菓子代（景品）　37,992 ヨーヨーセット　5,559 消耗品　3,853
2	役務費	19,830	切手代　11,830 ボランティア保険　8,000
3	合計（B）	101,450	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷地区防災事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	274,146	
2	繰越金	0	
3	協賛金	180,000	防災講座30,000・防災訓練150,000 （自治連）
4	負担金	0	
5	合計（A）	454,146	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	6,000	防災講座 講師謝礼 (3,000円×2h) 6,000
2	需用費	359,366	本郷地区防災訓練 カップ麺 53,352 チラシ代 50,160 アルファ化米 50,220 炊き出し用食品 5,247 消耗品 24,170 防災ポスター 防災備えの巻 137,940 防災倉庫資機材点検 バッテリーケース 7,852 防災講座 チラシ印刷代 3,520 パン代(スタッフ用) 4,250 雑費 11,135 お茶代 11,520
3	役務費	52,750	本郷地区防災訓練 傷害保険 51,000 防災かまどベンチ 賠償責任保険 1,750
4	使用料及び賃借料	36,030	本郷地区防災訓練 寸胴鍋他 13,530 防災講座 高木講堂使用料 22,500
5	合計（B）	454,146	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	子育て支援事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	99,881	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	99,881	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	60,000	(講演会・親子で音遊び)
			講師謝礼(3名)　33,000
			保育士(7名)　27,000
2	需用費	31,881	(こどもまつり)
			クリヤーホルダー他　11,088
			綿菓子ザラメ代　800
			(子育て講演会)
			チラシ印刷代　13,405
			(なつまつり)
			カキ氷蜜代他　2,190
			(ほほえみ運動会)
			パン、ジュース代　4,398
3	使用料及び賃借料	8,000	(こどもまつり)
			綿菓子機リース代　4,000
			(なつまつり)
			カキ氷機リース代　4,000
4	合計（B）	99,881	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷地区生活支援体制づくり事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	75,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	75,000	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	66,000	チラシ代(11円×6,000枚) 66,000
2	役務費	9,000	チラシポスター作成手数料 9,000
3	合計（B）	75,000	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷こどもまつり事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	193,865	
2	繰越金	0	
3	協賛金	50,000	社会福祉協議会
4	負担金	0	
5	合計（A）	243,865	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	78,865	飲物代　12,240 景品代(お菓子他)　37,319 パン代(スタッフ)　19,500 おむすび代（〃）　9,806
2	使用料及び賃借料	165,000	リース代一式　165,000
3	合計（B）	243,865	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	看護大生と取り組む地域交流事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	11,780	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	11,780	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	11,780	お菓子(ボランティアお礼) 11,780
2	合計（B）	11,780	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	山崎川にホタルを飛ばそう事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	1,440	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	1,440	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	1,440	お茶代　1,440
2	合計（B）	1,440	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	緑のカーテン事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	9,824	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	9,824	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	9,824	ゴーヤ苗　1,568 スナップエンドウ苗　1,680 培養土　6,576
2	合計（B）	9,824	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷花いっぱい事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	地域コミュニティ活動交付金	129,143	
2	繰越金	0	
3	協賛金	30,000	JA宮崎中央(15,000×2回)
4	負担金	0	
5	合計（A）	159,143	

（２）支出の部

番号	科　目	金　額	内　訳
1	需用費	159,143	花苗代(JA花壇) 65,236 花苗代(豆田川) 60,500 肥料、石灰他 4,070 お茶、弁当 15,116 除草剤 6,730 ゴミ袋代 5,291 倉庫スペアキー代 2,200
2	合計（B）	159,143	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	まつり本郷の交流事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	950,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	950,000	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	156,991	チラシ代 44,000 色上質紙 30,800 ナンバリング(2個) 15,734 景品代 36,607 お茶代 7,200 弁当代 13,400 消耗品 8,460 雑費 790
2	委託料	793,009	ステージ・音響一式 793,009
3	合計（B）	950,000	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷健幸ウォーキング事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	16,052	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	16,052	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳	
1	報償費	12,000	講師謝礼	12,000
2	需用費	4,052	チラシ印刷代 パン代(お礼)	3,370 682
3	合計（B）	16,052		

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷ふるさと再発見事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	26,526	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	26,526	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	26,526	絵画コンクール チラシ印刷代　6,025 コピー用紙　1,936 景品代　13,500 お茶代　2,880 雑費、消耗品費　2,185
2	合計（B）	26,526	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	親子手作り凧揚げ大会事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	11,890	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	11,890	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	11,890	チラシ印刷代　5,990 お茶代　4,320 飲物代（景品）　1,580
2	合計（B）	11,890	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	熱気球体験学習事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	119,370	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	119,370	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳	
1	報償費	20,000	人件費（6名分）	20,000
2	需用費	34,370	プロパンガス 軽食、お茶代	25,000 9,370
3	役務費	20,000	機体保険 交通運搬費	15,000 5,000
4	使用料及び賃借料	45,000	熱気球使用料	45,000
5	合計（B）	119,370		

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	ふれあい夢広場事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	191,072	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	191,072	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	21,672	ポン菓子　12,960 標語ポスター　8,712
2	使用料及び賃借料	169,400	ステージ一式　169,400
3	合計（B）	191,072	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	広報誌の発行事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	670,238	
2	繰越金	300,000	
3	協賛金	0	
4	負担金	215,000	社協　120,000　自治連　60,000 体育会　30,000　生涯学習　5,000
5	合計（A）	1,185,238	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	913,538	広報誌代（1回分）　98,769 広報誌統合版　791,620 ライン登録景品　11,452 事務用品　8,817 お茶代　2,880
2	役務費	271,700	ポスティング代　271,700
3	合計（B）	1,185,238	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	ＯＡ機器等購入費等積立事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	100,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	100,000	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	積立金	100,000	ＯＡ機器等積立　100,000
2	合計（B）	100,000	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷まち推10周年記念講演会事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	202,119	
2	繰越金	0	
3	協賛金	180,000	本郷地区自治会連合会
4	負担金	0	
5	合計（A）	382,119	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	200,000	講演料　200,000
2	需用費	104,489	チラシ代　50,600 入場チケット作成代　26,730 お菓子(お礼)　1,514 弁当代　12,916 消耗品　12,729
3	役務費	2,090	振込手数料　2,090
4	委託料	45,540	交通誘導警備料　45,540
5	使用料及び賃借料	30,000	髙木講堂使用料　30,000
6	合計（B）	382,119	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	本郷まち歩きデジタルスタンプラリー事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	99,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計（A）	99,000	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	99,000	キャラクター買取 (5パターン)　99,000
2	合計（B）	99,000	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	「本郷地区挨拶の日」支援事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	特例交付金	500,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	14,580	青少協
4	負担金	0	
5	合計（A）	514,580	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	需用費	514,580	のぼり旗(80枚×1,551円) 124,080 ポール(80本×550円) 44,000 手旗(150枚×2,310円) 346,500
2	合計（B）	514,580	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

事　業　別　収　支　計　算　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事　業　名	まちづくり活動支援事業

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	地域コミュニティ活動交付金	221,466	
2	繰越金	992,615	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	利息	1,512	
6	合計（A）	1,215,593	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	16,500	講師謝礼　16,500
2	旅費	30,000	役員費用弁償　30,000
3	需用費	110,538	文具消耗品他　23,446 バッテリーパック代　16,940 燃料代　28,713 写真アルバム代　12,100 お茶代　7,200 お礼菓子代他　15,622 景品（お菓子代）　6,517
4	役務費	99,550	通信費　66,376 行事傷害保険　17,716 郵送代（切手）　11,388 振込手数料　4,070
5	使用料及び賃借料	959,005	パソコンリース　246,290 車両リース代　369,600 プリンターリース　91,080 MDクラウドひなた　66,000 ライン使用料　66,000 HP使用料　55,044 発電機,投光機リース　64,991
6	合計（B）	1,215,593	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第８号）

積　立　金　管　理　状　況　報　告　書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

積立金名称	地域掲示板積立事業

積立金の収支　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	前年度までの積立金	1,000,427	
2	積立額	0	
3	利息	20	
4	合　　計	1,000,447	

積立金名称	OA 機器等購入費等積立事業

積立金の収支　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	前年度までの積立金	400,012	
2	積立額	100,000	
3	利息	8	
4	合　　計	500,020	

（様式第 10 号）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和７年３月２１日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市大字本郷南方４０６１番地
名　　称　本郷まちづくり推進委員会
代表者の氏名　会長　小倉俊二
電話番号　０９８５－６９－８３０９

令和６年１０月２８日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において８６４，７３８円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和６年度収支決算（見込）書

（様式第８号）

令和７年３月２１日

令和６年度 本郷地域まちづくり推進委員会への意見書［事業実施報告］

本郷地域自治区地域協議会
会 長　　森　　歌 子

令和６年度の本郷地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていましたので、承認いたします。

記

１．総括
特にありません。

２．事業の推進体制
特にありません

３．各事業への意見（意見がある事業のみ記載）

事業名	意見
看護大生と取り組む地域交流事業	看護大生のアイデアで新規事業が立ち上がったのは喜ばしい。子どもや高齢者だけでなく、看護大生自身も楽しいと思える事業になると継続しやすいのではないかと思う。
本郷健幸ウォーキング	「看護大生と取り組む地域交流事業」もだが、地域に看護大学があるということが本郷地区の特色なので、これからも協力して事業を実施していただきたい。

４　その他
特にありません